

家庭科学習の手引き



1. はじめに

中学校では、技術の授業と家庭科の授業に分かれます。

1年生では、主に	衣生活・住生活・食生活の基礎
2年生では、主に	衣生活で作品製作・食生活の発展 調理実習
3年生では、主に	消費生活・保育、保育実習

について学習します。

家庭科の学習で一番大切なことは、自分の身の回りのことについて、興味を持ち、自分でできることは自分で行うこと。例えば、おなかがすいたら、何でも良いから、自分でつくってみる。ボタンが取れたら自分でつける。おうちのお手伝い、買い物に行く。ゴミ出しを自分の仕事として行う。等、やってみることが大切です。そうした行いの中から、問題点や疑問点、コツなども見えてきます。

家庭科は、生きる力をつけるための学習です。学習したことをお家で実践してみよう。

2. 授業について

①忘れ物をしないようにしましょう

・教科書・ファイルの2点セット（2・3年は3点セット）です。
置いて帰ってかまいません。

②提出物をきちんと出しましょう

・中身もきちんとやりきって、期限を守って提出しましょう。

③自分のこととして考え、意見をみんなに伝えましょう

・家庭科は必ず全員が関わっています。正解や間違いはありませんので、しっかりと自分の意見を発表しましょう！

④人に迷惑をかけないようにしよう

・人が話をする時は静かに聞く。班で考える時には協力する。当たり前のことですが、『やる時はやる』で頑張りましょう！

⑤自分を振り返りましょう

・毎時間『自己評価表』を記入してもらいます。しっかりと振り返り、分かったこと、分からなかったことを記入して、次につなげましょう。

3. 家庭学習について

①家庭の仕事に参加しましょう。

・保護者の方が食事の支度をするとき、積極的に参加しましょう。
食事の文化は、家庭内で受け継がれていきます。

②授業で習ったことは、家庭の中で実践していきましょう。実践は復習です。